

浜松市生活支援体制づくり協議体（第1層：市域） 第1回会議 議事録

開催日時	令和2年8月31日（月）10時から11時30分まで
参加者	委員：8人(欠席1名) 事務局：2人 その他：4人（高齢者福祉課：4人）
場所	浜松市福祉交流センター 32会議室
内容	<p><b>1. 会長挨拶</b></p> <p><b>2. 議題</b></p> <p><b>(1) 令和元年度 第1層協議体の振り返りについて</b></p> <p>生活支援コーディネーターより、昨年度第一層で取り上げられた検討事項について共有を行った。</p> <p>[説明内容]</p> <p>以下が検討事項として挙げられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1層として取り組むべき、検討すべき課題として、浜松市の移動支援をどう展開していくか。</li> <li>・何を成果とするか、またそれを外部にどう示していくか。</li> </ul> <p>【意見・質問など】：特に無し。</p> <p><b>(2) 各地域の活動状況について</b></p> <p>生活支援コーディネーターより、各圏域の進捗状況や課題について共有を行った。</p> <p>[説明内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれの圏域もおおよそ地域課題の抽出まで進み、それを深めている状況である。</li> <li>・共通の課題として、主に「協議体の成果をどう見える化し、どう発信していくか」、「地域の法人との連携」が挙げられる。</li> </ul> <p>【意見・質問など】：特に無し。</p> <p><b>(3) 浜松市における住民主体の移送サービスについて</b></p> <p>生活支援コーディネーターより、浜松市で想定される移送サービスのパターンや課題などについて共有を行った。</p> <p>[説明内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な主体が担い手として考えられる。</li> <li>・想定される課題として、「運転ボランティアの確保および研修」、「運営の担い手の確保」、「事故対策(保険加入)の費用の捻出」、「関係機関との連携」が挙げられる。</li> </ul> <p>【意見・質問など】：特に無し。</p> <p><b>(4) 社会福祉法人の地域における公益的な取組等の実施に関するアンケート調査について</b></p> <p>生活支援コーディネーターより、移送サービスを視野に入れた市内社会福祉法人との連携推進の参考資料とするためのアンケート調査について説明を行った。</p> <p>[説明内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民主体サービスの展開にあたって、社会福祉法人等との連携は大変強いものになるため、その連携推進の参考資料とするための調査票の素案を作成した。</li> </ul>

- ・浜松市社会福祉協議会が事務局を担当させていただいている浜松市社会福祉施設協議会に所属する市内約 170 施設に調査依頼をかける予定である。
- ・集計後は、連携のあり方を検討する上での基礎資料とするとともに、各圏域の生活支援コーディネーターから連携打診を行うための参考資料とする。

**【意見・質問など】**

- ・アンケートを実施することによって、市内の社会福祉法人とつながりができると良い。
- ・住民主体サービスにおいて、地区社会福祉協議会の役割が大きい。その役割を強化していけるよう、第 1 層としての支援を検討していく必要があるのではないか。
- ・移送サービスにおける連携を視野に入れているため、社会福祉法人に限らず、実施主体として想定される地区社会福祉協議会の現状や意向も確認する必要があると思われる。
- ・現在の質問内容では、アンケート実施の最大の目的である移送サービスの取組に関する情報が得づらく、得られる情報が散漫になると考えられる。“貸し出しが可能な車両はあるか” や “車両の貸し出しが可能な時間帯はいつか”、“移送サービスに取り組むとして、どのような課題が想定されるか” 等、具体的な質問をして、情報を集める必要があると思われる。

**(5) 生活支援サービス情報の蓄積について**

生活支援コーディネーターより、市域での社会資源把握などを目的としたデータベース構築の構想について説明を行った。

**[説明内容]**

第 1 層として、社会資源の見える化を図るため、情報を一つのデータベースに蓄積・共有し、関係機関がその情報を把握できるシステムを検討している。そのうえで、蓄積の仕方や情報の見せ方など、改めてご意見をいただきたいと考えている。

**【意見・質問など】**

- ・このデータベースを閲覧できる対象は誰を想定しているか。  
⇒浜松市役所・地域包括支援センター・浜松市社会福祉協議会など、住民主体サービスの情報提供に関わる機関を想定している。
- ・実際の相談援助において、地域住民が自らサービスの情報を探す場面も見られる。住民主体サービスにつなげていくことを目的とするのであれば、関係機関内での情報共有に限らず、地域住民が自ら活用できるデータベースも有効であると考え。セキュリティや個人情報などを考慮しながら、地域住民が閲覧できるような、開かれたデータベースの構築を目指す必要があると思われる。
- ・このデータベースに蓄積する情報は地区社会福祉協議会が運営しているもののみを想定しているか。  
⇒地区社会福祉協議会が運営しているサービスだけでなく、市内のあらゆる主体が運営しているサービスの情報を想定している。

**(6) 住民福祉組織(地区社会福祉協議会)の状況について**

生活支援コーディネーターより、市域の地域資源の共有のため、住民福祉組織の状況について説明を行った。

[説明内容]

- ・今年度は新たに地区社会福祉協議会が立ち上がった。
- ・高齢化による担い手不足で活動を廃止するサロンがいくつか見られた。

【意見・質問など】：特に無し。

**(7) 協議体進捗状況の共有について**

生活支援コーディネーターより、協議体の成果発信の一つとして議事録を市社協ホームページに掲載することについて、説明を行った。

[説明内容]

- ・第1層と第2層協議体は共通して協議体の成果をどのように示していくかという課題が挙げられている。その一つの手法として、協議体の議事録を浜松市社会福祉協議会のホームページに掲載していくことを検討している。
- ・内容としては、概要と特筆事項を整理して記載することを想定している。

【意見・質問など】：特に無し。

**(8) 新型コロナウイルスの対応について**

生活支援コーディネーターより、この間の新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、住民主体サービスの縮小を避け、新たなサービス体制構築支援のため、提示する資料について説明を行った。

[説明内容]

現在、多くの圏域で令和2年度第1回目の協議体が開催されているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、地域での活動が縮小している傾向が見られる。その中で、活動のあり方を検討する参考資料として、素案を作成した。

【意見・質問など】：特に無し。

**(9) その他：無し。**

**3. 連絡事項**

**(1) 令和2年度 会議日程について<全3回実施予定>**

**(2) その他：無し。**

今後の見通し等

引き続き、「第1層として取り組むべき、検討すべき課題として、浜松市の移動支援をどう展開していくか」、「何を成果とするか、またそれを外部にどう示していくか」について追及していく。特に今年度は、議題にもあるように「社会福祉法人の地域における公益的な取組等の実施に関するアンケート調査」や「協議体進捗状況の共有」を進めていく。

また、新型コロナウイルス感染拡大の影響も含め、各圏域の進捗状況や課題の把握に努め、第1層と第2層の連携のあり方についても協議を深めていく。

